

タイトル

「本が、図書館が社会の中心になる、全ての人々に親しまれる図書館」

コンセプト

今回私は、市町村立図書館ではなく、県立図書館だからこそできる、図書館の役割について考えました。利用者がただ本を借りるだけでなく、本の面白さに気づくことができるような図書館、ゆったりと本を楽しむことができるような図書館、本の作者が図書館に自分の本を提供したくなるような図書館、地元の企業が図書館を通して地域貢献ができるような図書館を考えました。具体的な案については以下に示す通りです。

詳細説明

(i) VR 技術を用いて、本の世界が体験できる「本体験室」の設置

ウィズコロナ、アフターコロナの時代、今までと比べて家で過ごす時間が長くなった、そんな人も多いのではないのでしょうか。コロナ禍で多くのストレスを抱えている人も多いと思います。そんなとき、本を読むことで自分の世界が広がったり、心が豊かな気持ちになったりしたらどんなに素敵なことでしょうか。本には人々の心を温かくする、そんな力があります。しかし、最近の若者は本を読まないとよく耳にします。スマートフォンの普及などに伴う若者の本離れがよく指摘されています。そのため、子どもたちや若者に、本の面白さに気付いてほしい、そんな思いでこの企画を考案しました。昨今著しい進歩を遂げている VR 技術。それを通して本の世界が体験できる、自分が本の世界の主人公、登場人物になれる、そんな体験ができれば、本に興味を持つきっかけになるのではないのでしょうか。そこに行けば、いつでも本の世界が体験でき、自分が物語の主人公になれる、そんな体験室があったらいいなあと考えました。

(ii) ゆったり本を楽しむことができ、観光名所にもなり得る、新幹線の列車の設置・開放

本を読むとき、ゆったりと自分だけの世界に入り、本の世界に浸りながら本を楽しみたい、そんな人々も多いのではないのでしょうか。そんな人のために、図書館で借りた本をゆったりと楽しむことができる空間が設置されたら素晴らしいなあと考えました。そこで考えついたのが、500 系新幹線やブルートレインのような、廃車になった新幹線や高級列車の列車を設置し、読書をする場所として開放することです。新幹線や寝台列車は乗り心地がよく、ゆったりとできるように設計されています。その座席で読書をすれば、ゆったりとした気持ちで本の世界に浸ることができるのではないかと考えました。また 500 系新幹線やブルートレインのような人気だった列車を設置・開放することで、鉄道ファンが図書館に訪れる可能性も考えられます。図書館がただ図書館としての役割を果たすだけでなく、観光名所としても人々に親しまれるようになったら、なおのこと素晴らしいなあと考えました。

(iii) 作者も嬉しい、企業も地域貢献ができる、広告付き電子書籍の導入

電子書籍の普及が広がりを見せています。図書館でも電子書籍を導入することで、空いたスペースを他のことに有効活用できるだけでなく、より多くの書籍を人々に提供することができると思います。しかし、ただ電子書籍を導入するだけでなく、もっと人々が喜ぶような電子書籍の導入方法を考えました。本の作者が図書館に書籍・電子書籍を提供する場合、作者は収入の面で損をする可能性があります。例えば、ある作者のある本を 100 人の人が図書館で借りたとします。その場合、作者は図書館が購入した 1 冊分の収入しか得ることができません。しかし、同じ本を 100 人の人が購入して読んだとすれば、作者は 100 冊分の収入を得ることができます。このように作者が自分の本を図書館に提供することは、一見損をしているかのように見えます。これを少しでも解決できないだろうか。そのために考えたのが、電子書籍に広告を導入することです。利用者が図書館で電子書籍を借り、その書籍を読む際に、途中で広告が流れる仕組みになっています。こうすることで本の作者には、広告収入が入ることになります。多くの人が図書館でその電子書籍を読めば読むほど、広告収入は増えることになります。この広告は、主に地元の企業に提供してもらおうと考えていますが、地元の企業にとってもメリットがあると考えます。広告を出すことで、その広告を見た電子書籍の読者が商品を購入してくれる可能性があります。また昨今の社会では、企業が社会貢献・地域貢献をすることが求められています。地元の図書館の電子書籍に広告を提供することは、企業の社会貢献・地域貢献の活動の一つになると考えます。

上記の案を通して、利用者・本の作者・地元の企業に親しまれるだけでなく、観光名所としても多くの人に親しまれる、そんな県立図書館を考案しました。本の楽しさを学び、観光名所としての役割も果たし、利用者だけでなく本の作者や地元の企業にも親しまれる、これらのことは市町村立図書館ではできない、県立図書館だからこそ果たすことができる役割だと考えます。ウィズコロナ・アフターコロナの社会で人々に本が寄り添う社会になれば、そんな社会の実現のために新県立図書館が大いなる役割を果たすことを期待します。